



北相模総守護社
亀ヶ池八幡宮

社報

龜ヶ池



第8号 [平成22年1月1日発行]

発行／亀ヶ池八幡宮社務所
〒229-1123 神奈川県相模原市上溝1678
TEL.042-751-1138 FAX.042-757-3811
URL <http://www.kamegaike.jp>
E-mail: info@kamegaike.jp

昭和天皇御製

あめつち

天地の神にぞ祈る 朝なぎの

海のごとくに波たたぬ世を



御社頭にて浦安の舞奉奏

「浦安の舞」…皇紀二六〇〇年（昭和十五年）の全国神社奉祝祭で神慮を慰め奉るために奏されました。風土の美しい安らかな日本の国に平和を祈る舞であります。



地球温暖化がさげばれ始めて十数年が過ぎた。北極の氷山が崩れ、ツンドラ地帯が浸蝕され、氷河が溶けて湖が出現する等、動植物にはかり知れない程の影響が出ている。

原因はいろいろあるだろう。ブラジルの森林地帯に広大な耕作地確保の樹木伐採や、北極地の油田開発等の地球破壊また、石油依存型社会による大気汚染等があげられる。このまゝの状態が続くと、数十年後には取り返しのつかないことになるだろうと警鐘されている。

神奈川県内のある神社では大学の先生の指導のもと「千年の杜づくり」に取り組んでいる。カシ、クスギ、ナラ等の苗木を山々に植え、え、鎮守の杜づくりをして、子孫累代に至るまで自然と人間とが融和したすばらしい国づくりを進めている。

時恰も本年、天皇皇后両陛下が行幸啓され全国植樹祭が神奈川県足柄市を中心に実施される。

この機会に私たちは、鎮守の杜づくりに精を出し地球温暖化防止に寄与したいものである。



遷宮で結ぶ人の輪心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

年頭のご挨拶

宮司 根岸信行



新年明けましておめでとうございます。平成二十二年庚寅歳の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、皇室の弥栄と氏子崇敬者の皆様の平安とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

皇皇后両陛下の益々のご健康と皇室の弥栄をご祈念申し上げます。

昨年明けておめでたうございます。平成二十二年庚寅歳の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、皇室の弥栄と氏子崇敬者の皆様の平安とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年は皇室におかれましては、天皇陛下御即位二十年並びに天皇皇后両陛下御結婚満五十年を迎えられ、十一月十二日には、皇居前広場に集まった五万人の国民を前に二重橋にお出ましになられた両陛下は寒空の下二時間余りに亘って練り広げられた催しに熱心にご覧遊ばされ、各界からの祝辞をお受けになられました。国民挙って天

第六十二回式年遷宮を平成二十五年に控えた伊勢神宮では五十鈴川に架かる宇治橋が竣工し、昨年十一月三日に全国から集まった親子孫三代の夫婦等、約千人が渡り初めを行い四年後の遷宮の気運昂揚に沸きました。

さて、日本は二昨年九月に勃発した米国のサブプライム問題以来低迷していた経済も昨年夏以後や、回復したかに見えましたが、十四年ぶりの円高・株安並びにデフレに悲鳴を上げ年末を迎えました。本年は雄しい雄壮な「寅」歳であり、百獣の王にたとえられ、強いものの代名詞として引用さ

平成二十二年亀ヶ池八幡宮 例大祭を厳修

亀ヶ池八幡大神の御神恩への感謝とさなる繁栄を祈る一年に一度の例大祭が



昨年の九月十三日午前十時、秋晴れの下、打ち上げ花火を合図に、祓所での修祓後、神社役員、総代世話人始め市内外より氏子崇敬者多数が拝殿に



昇殿し、献幣使に神奈川県神社庁副庁長相原園彦（江島神社宮司）氏を迎え、幣帛を賜り厳肅裡に執り行われました。参列者らは、午後一時より行われた奉納剣道や市無形文化財の神代神楽を始め氏子の演芸等、様々な神賑行事を時間の経つのも忘れ楽しんでおりました。

れまた、大変子煩悩で面倒見が良いとも言われています。

今年こそは寅に肖り、強い日本、成長する日本、隣人愛に富む日本でありたいものです。本年も皆様にとつて佳き年でありますようお祈りし、年頭の御挨拶と致します。

夏越大祓式 平安時代から続く古式ゆかしい神事

梅雨の最中、去る六月二十七日（土）午後

三時、亀ヶ池八幡宮境内において夏越大祓式が斎行されました。夏越大祓式は半年の間に知らず知らずの内に身に付いてしまった罪や穢れをお祓いする神事です。



今年は三百五十名程の方が参列されました。

当日は雨天が心配されましたが、大神様の御神徳でありましようか、開式時には晴天となり、御神木の夫婦銀杏の青々とした葉がそよぐ中、清水亭総代長による挨拶に続いて肅々と執り行われました。



また今年もJ・COMによる取材があり、神事の模様が地域情報コーナーにて放送されました。



八坂祭(天王さま)

上溝に古くから伝わる 疫病除けの夏祭

毎年七月二十



七日を宵宮、二十八日を本宮と呼び「かながわの祭五十選」にも選ばれている八坂祭は、昔より天王さまと言われ、疫病除け・町内平穏を祈るお祭です。各町内から大人神輿・子供神輿合わせて約三十二基と、八台の山車が繰り出されます。

亀ヶ池八幡宮の神職によって、上溝各町内に鎮座するお神輿に御魂遷しと祭の安全祈願の神事が執り行われると、いよいよ「ワイショ」の掛け声とともにお神輿が担がれますが、その様は勇壮そのものです。また、オカメ・ヒョットコ・白狐やお囃子を乗せた山車も町内を練り歩き、商店街には沢山の露店が並び、宵宮・本宮ともに夜遅くまで上溝の町がお祭の熱気に包まれています。



一昨年より進めていた天皇陛下御即位20年記念事業としての儀式殿建設に続いて、参拝者皆様の利便性をはかり、そして品格を有する参集殿エントランスを増改築しました。



奉祝 天皇陛下御即位二十年記念事業 参集殿エントランス(玄関)竣工

下御即位二十年奉祝記念式典が県民五千名参加の下、開催されました。
先づ、斉藤文夫奉祝委員長が開会の挨拶をされ、続いて吉田茂穂神社庁長等が祝詞を述べられました。その後は、中條高徳国際青年文化協会長の記念講演やシン

天皇陛下御即位二十年奉祝 神奈川県民の集い開催

平成二十一年十月二十五日、秋雨も正午には上がり、パシフィコ横浜国立大ホールにて午後一時より、天皇陛下



ガソングライターのさだまさし氏の記念コンサートがあり、四時頃より臨海地区で日の丸提灯大行進パレードが行われ、盛会裡のうちに終了いたしました。
**第九回神奈川県神社庁
神職大会開催**
二年に一度開催される県内神職大会も九回目を迎え、昨年十一月二十五日に箱根湯元のホテルで開催されました。この大会は神職の資質向上と懇親を深めることを旨として実施されるもので、今回は十二の指針(神社庁設立六十周年時設定の具現化に向けて「千年の鎮守の杜をつくる」の講演の後、「二宮尊徳思想」等の教化課題の討議をして有意義な大会となりました。



兼務神社めぐり 其の三

五、日枝神社 (相模原市淵野辺本町1-26-16)

山王日枝神社には次のような由緒があります。今より702年前の第94代後二条天皇の治世、徳治2年に大將軍久明親王の執権北条貞時が僧になって淵野辺に遊歴し、官吏の善悪賞罰を正していた頃、各所より地に溝ができて水が流れ込み、池となったところから大蛇があらわれ人々を困らせました。貞時は溝の中の高山にて山王大権現を祈願して、淵野辺伊賀守義博に命じて大蛇を退治しました。住民は喜び山王大権現を淵有主神として祀ったのが山王日枝神社の起源です。後、天文11年8月27日には大友義家が北条氏康の関東平定を山王大権現に祈願しました。

悪病流行の折には伊賀権現大西明神がおつけし、知行岡野孫一郎の命を受け氏子一同が8月27日及び11月の酉の日に五穀豊穡氏子安泰地域平穏を祈りました。



社殿は天和2年元禄12年寛保元年文化3年等修復をし、現在の社殿は昭和40年再建のものです。主な行事に元旦祭(1月1日)例大祭(山王祭・九月第2土曜日)、七五三・長寿の祝(11月15日)、酉の祭(11月酉の日)があります。(植田賢一総代長寄稿)



亀ヶ池八幡宮では、例祭・七五三等の年間祭典を執り行っている兼務神社(根岸信行宮司)が相模原市内22神社あります。社報(亀ヶ池)第6号より順次ご紹介しています。

六、浅間神社 (相模原市当麻1339)

緑の木立に囲まれ木々の間から相模川の川面が一望できる境内、木花咲耶媛命を祭神とする浅間神社は、正徳3年12月(1713)富士浅間神社の分霊として造立されました。この数年前富士山大噴火(宝永山)により山霊を鎮めるため祭ったものと伝えられています。



その後、数次に亘り改修され中宮は安永5年(1776)3月に建築されたと考えられ中宮内には女体を表す奇石の御神体が納められています。祭神の木花咲耶媛命は神話の大山祇神の息女でにぎの命の皇后であらせられた方で、非常に気高く善美の神として仰がれていたそうです。

昭和45年8月、氏子の方々の大変な御努力により境内を整備して社殿も新しく建て替えられ、鳥居・狛犬等が奉納されました。

古来より、安産、農業、漁業、交通安全等の御守護が厚く、地域住民の守り神として崇められ数多くの氏子崇敬者が参拝に訪れます。



年に一度の例祭は8月の下旬に行われ子供神輿と山車が、氏子が居住する地区内を巡行します。夜は氏子の方による奉納演芸会が行われ数多くの氏子崇敬者が参拝に訪れ、大変にぎやかな夏の夜のひと時となります。(柳川清治総代長寄稿)

神社！ 豆知識

八幡さま

八幡神(八幡大神)は第15代天皇・応神天皇であり、鎌倉時代は源氏の守護神とされ国家安泰・戦勝・武運長久の神として信仰されてきましたが、次第に民衆の神様となり子育て等の神として信仰されるようになりました。

大分県の宇佐神宮を本宮とする八幡宮は全国に2万有余社あると言われ、日本国中で信仰篤い神様です。

尚、当八幡宮では応神天皇を主祭神とすると共に母親の神功皇后、応神天皇と関係深いとされる比売神の三柱の神様をお祀りしており、古くから「良縁」「子宝・子授け」「厄除け」「商売繁昌」「交通安全」の神様として市内外、県外の人々からも崇敬されています。



**新石玉垣御奉賛者御礼報告
並びにご協賛のお願い 其の四**

新石玉垣御奉賛賜りました奉賛者皆様に感謝申し上げます、
更なる御奉賛をお願い申し上げます。

佐藤 林作 (上溝)
吉川 和宏 (上溝)
笹崎 金平 (上溝)
山田 好男 (上溝)
(有)新康電気 (相生)
(有)キタケウイドセンター(相生)
(有)三興設備機器(陽光台)
(有)相模原工業(大島)
(有)森田設備工業(上矢部)
(有)川口材木店(相模大野)
(有)イテラア参事丸町田山崎町
(株)マルサン (田名)

(有)山口鉄工所(町田市小山町)
原田美装(株)(西大沼)
ランドワーク設計(町田市原町田)
(株)栗原ビルシステム(下九沢)
北板金(城山町原宿)
(株)小関工務店(町田市金井)
(株)ユイナワ(千代田)
藤岡 博(鹿沼台)
後藤 博一(上溝)
田口 昌一(上溝)
田口 一郎(上溝)
中村 正(上溝)

吉川 豊司(上溝)
後藤 一喜(上溝)
田口 昌久(上溝)
白井 國男(上溝)
鈴木 峰陽(陽光台)
座間 輝美(上溝)
平岡 正博(上溝)
桐生 忠一(上溝)
八木 稔(上溝)
和可奈館(光が丘)
バイル化学工業(株)(愛川町中津)
坪井 弘明(水郷田名)
坪井 佑一(水郷田名)
坪井 僚哉(水郷田名)
坪井 俊樹(水郷田名)
佐藤 俊輔(陽光台)
京懐石 梅の香(千代田)
中村 保(上溝)

門倉 秀紀(上溝)
(株)中山建築設計事務所中央
(株)前田商店(田名)
安藤 千尋(上溝)
(有)テック・サービス(上溝)
吉澤 林弥(上溝)
認定土地家屋調査士 細野正明(当麻)
林 松生(光が丘)
関山 和夫(大塚)
(株)柳重機(下溝)
(株)リガルジョイント(大野台)
(株)山和建設 島山恒男(上溝)
大場 正二(茨城県行方市)
大場 憲正(茨城県行方市)
(有)池田屋 池田秀子(町田市相模原)
奈良 忠節(上溝)
物袋 利広(上溝)

健康 お宝船



「健康に勝る宝無し」と言われます。
今号も相模原市歯科医師会特命理事の
横山尚人氏より寄稿頂きましたので連
載いたします。



横山尚人氏

生まれてくる 赤ちゃんのために

前号で歯は妊娠六週目頃から、永久歯も妊娠五ヶ月頃からでき始めることをお話ししました。生まれてくる赤ちゃんのために、お母さんは妊娠中からカルシウム不足にならないだけでなく、栄養にバランスのとれた食事が必要なのは皆さん御承知のとおりです。

知の通りです。しかし一方で、妊娠中には、おなかの赤ちゃんにカルシウムをとられて、お母さんの歯が悪くなるというお話を聞きます。これは科学的な根拠のないことです。歯は骨と違って新陳代謝をしません。一度できあがった歯からカルシウムがとけだすことはないので。

それではなぜお母さんの歯が悪くなることが多いのでしょうか。それは、妊娠中に起こる体調の変化、例えば、ホルモンなどの関係で唾液が酸性に傾いて潜在化していたムシ歯がよりひどくなつて顕在化するのです。また、つわりによって吐き気がおきたりして、歯磨きがなおざりになり口の中が不潔な状態になつて歯肉炎やムシ歯を悪化して目に見えてくるのです。おなかの赤ちゃんのせいではありません。カルシウム不足にならないようにカルシウムだけを薬剤などで多く摂っても効果は期待できません。

カルシウムの摂取量そのものを多くするだけでなく、歯や骨に効率よく吸収させる栄養素が必要で、逆に吸収を低下させるものは控える必要があります。吸収を効率よくする栄養素として、ビタミンCが必要なのですが、ビタミンDも吸収によい影響を与えます。

吸収を低下させるものに、リン、ブドウ糖、脂肪等があります。甘い清涼飲料や脂肪分の多いスナック菓子がよくないのは、子供のムシ歯発生を抑えるためでなく、妊娠中のお母さんにも大切なことです。タンパク質、鉄分などあらゆる栄養素をバランスよく食事にとりたいものです。そして歯磨きをより丁寧に行つて下さい。生まれてくる赤ちゃんへ丈夫な歯をプレゼントできるように。

(医)誠真会 横山デンタルクリニック
相模原市弥栄二一九十一

ご案内

平成二十二年節分祭

- 斎行日：平成二十二年二月三日(水)
- 式典：午後三時
- 豆撒き師(年男・年女・厄年の人)のご希望の方は、当八幡宮へお申し込み下さい。(当日も受け付け致します。)

夏越大祓式(茅の輪神事)

- 斎行日：平成二十二年七月四日(日)
- 式典：午後三時
- 半年の罪穢を人形に移し清めて、心身共に蘇るお祭りです。お申し込みは、当八幡宮までご連絡下さい。(当日も受け付け致します。)

